

# あそびまつりだより No. 1

2017. 9. 8  
頌栄幼稚園

9月1日、園庭に出ている玉入れや跳び箱、大玉、カラー綱などを見て「運動会やからなあ」「玉入れしてる！」と子どもたちの声が聞こえ、うれしいスタートでした。テントを見て「運動会の屋根ができてるよ」と面白い表現もありました。

さて、今年の『あそびまつり』（頌栄幼稚園の運動会は「あそびまつり」なのです）は、どんなあそびまつりになるのでしょうか？子どもたちの様子や遊びを、「あそびまつりだより」でお知らせしていきます！



## <\*質問です\*>

「運動会」と聞いて、どんなことをイメージしますか？

楽しい思い出もあることと思いますが、中には「運動会＝練習」という言葉もでてくるのではないのでしょうか。では、「あそびまつり」と聞いた時、どんなことをイメージしますか？

子どもたちも、運動会というと練習という言葉が出てくる子もいます。子どもたちは「あそびまつり」にどんなイメージを持っているのだろう、「遊び」と「練習」の違いをどんなふうに感じているのだろう……。そこで、尋ねてみました。年長児からは色々な答えが。年中児の第一声は「むつかしい〜」でした。

### 練習

- 1つのことをいっぱいする
- これをすると決まっている
- やりなさいと言われてする
- 褒められるためにする
- 強くなる、がんばる、好きじゃなくてもやる

### 遊び

- ☆いつでもしていい
- ☆何でもしていい
- ☆自分からやろうと思ったら遊びや
- ☆できるようになったら嬉しい、どんどんする
- ☆好きなことをする、やりたいときにする

「あそびまつり」に向けて、回数を重ねていくことは必要となってくるでしょうが、それが練習ではなく、遊びながら学び、経験を積んでいき、10月21日を迎えられるといいなと思っています。「練習」と「遊び」の違いは、まだまだ答えが出てきそうです。ご家庭でも考えを言いあっこしては…？(^o^)

## <\*友だちって頼もしいね\*>

ブランコで足をすりむき、泣いているAちゃん。泣き声が聞こえたからと、玉入れやブランコをしていた子たちが集まって、Aちゃんの話聞いていました。先生は何も呼びかけていないのに、集まっているのです。水に濡らしたティッシュを持ってきて足に着いた土を拭いたり、絆創膏を貼ってあげたり、周りに集まって気にかけていたり

……。Aちゃんは彼らの力で、泣きやむことが出来ました。子どもたちに大、大、感謝、そして拍手です。

友だち同士、学年の違う子たちが心を合わせて、温かい関わり。遊びの中で、大事な人間関係を築いていることを感じます。「あそびまつり」でも大切にしていきたい経験です。この様子を、近くで見守っていた教師は、年長のお姉さんは看護師長さん、他のお手伝いの子たちは看護師さんのように頼もしかった、と声をかけ、話していました。お部屋で話を聞いた時、子どもたちは、はにかんで、友だち同士見つめあって笑っていました。

